科目名			担当教員	
歴史を読み解く			藤野　敦	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
AJ1038	2	1	RorSR (講義)	1 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2026 年度は開講しません（次回開講は 2027 年度）。
※オンデマンド・スクーリングは 2026 年度も開講予定です。

科目の概要

■科目の内容

歴史とは、過去から現在にいたる人間の活動の総体である。別の表現をすれば、現在、私たちが暮らしている世の中はどのようにしてできたのか、ということを解き明かそうとする試みである。過去と現在を結び付け、それによって現在と未来の人間の在り方を考えるのが、歴史を学ぶ意義であろう。そのための手がかりが「史料」である。史料は、過去の歴史を明らかにする時には欠かせない材料であり、あらゆる歴史の記述は史料に基づいて書かれている。本講座では、テキストに掲載された史料（口語訳）を丹念に読み、そこから歴史的意義や時代の背景・動向を汲み取ることで、歴史を学ぶ面白さを感じ取ってもらいたい。

【スクーリングで学ぶ内容】

1 邪馬台国、 3 遣隋使の派遣、 5 国分寺建立の詔、 6 大仏造立の詔、11 北条泰時書状、15 惣掟、16 山城国一揆、19 太閤検地、20 刀狩令、23 バテレン追放令、24 鎖国令、28 海国兵談、29 異国船打払令を中心に学ぶ。

【教科書・レポート学習で学ぶ内容】

2 大化改新、 9 院政の開始、10 平家物語、18 楽市令、22 武家諸法度、23 禁中並公家諸法度、25 百姓に対する生活統制、27 身分社会への批判、33 王政復古の大号令、34 五箇条の誓文、36 学事奨励に関する太政官布告、37 民撰議院設立の建白、38 大日本帝国憲法、44 日本国憲法、46 日米相互協力及び安全保障条約を中心に学ぶ。

■到達目標

1 ）基本史料を丹念に読みこむことができる。
2 ）基本史料の背景や歴史的意義を知り、その史料を歴史の流れの中でとらえることができる。
3 ）教科書等に記された歴史の根拠を考える姿勢を身に付ける。
4 ）日本の歴史に興味関心を高め、自ら調べようとする姿勢を身に付ける。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 40%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 60%

■教科書・参考図書

【教科書】

下山　忍・會田康範編『もういちど読む　山川日本史史料』山川出版社、2017 年

（スクーリング時の教科書）上記教科書は必ず持参してください。また、参考図書に挙げた『歴史資料館日本史のライブラリー』東京法令出版も、参照してもらうことが多いので、なるべくご持参ください。

【参考図書】

- 佐藤信・五味文彦・高埜利彦・鈴木淳他著『詳説日本史』山川出版社（高等学校日本史探究教科書）
- 東京法令出版教育出版部編集『歴史資料館　日本史のライブラリー』東京法令出版
- 教科書の「もっと知りたい人のための参考文献」に挙げられた図書

■履修上の留意事項

- 基礎的な日本史の知識を前提とした講義を行うので、高等学校で日本史を履修していることが望ましい。
- そうでない場合は、参考図書に挙げた『詳説日本史』（山川出版社）や『歴史資料館　日本史のライブラリー』（東京法令出版）などを活用して自学自習を進めてもらいたい。

スクーリング

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	日本文化のあけぼのと大陸との交流	時代区分論から始め、日本の旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特徴と代表的な遺跡について概観する。「邪馬台国」の史料を読み、日本列島の政治的統合について考える。
2	古代国家の歩みと東アジア世界	「遣隋使の派遣」の史料を読み、当時の日中関係を踏まえてその意義を考える。聖徳太子や大化の改新についても触れる。また、「大仏建立の詔」の史料を読み、古代国家について考える。
3	武家政治のはじまり	中世の開始である院政から、平氏政権・鎌倉幕府について概観し、鎌倉幕府の成立について考える。また、「北条泰時書状」の史料を読み、この時代の政治について考える。
4	中世民衆の成長	中世民衆の成長に焦点をあて、「惣掟」の史料から室町時代の村はどのようなことを定めていたのか、「山城国一揆」の史料からどのような自治がおこなわれたのかを考える。
5	近世への胎動ー太閤検地と刀狩ー	「太閤検地」や「刀狩」の史料を読み、それらの政策が江戸時代につながる近世社会を準備したことについて考える。
6	「鎖国」下の外交	「バテレン追放令」や「鎖国令」の史料を読むとともに、近世の「四つの口」における対外交流を概観することで「鎖国」下の外交について考える。
7	欧米列強の接近と近代への序曲	欧米列強の接近について概観し、「海国兵談」や「異国船打払令」の史料からその時代を考えるとともに、近代の萌芽について考える。

8	日本における「国民国家」の形成	日本における「国民国家」の形成をアイヌ政策から考える。また、領土の確定と現在の領土問題について概観する。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

- 教科書は必ず使用します。
- 参考図書もお持ちの方はご持参ください。特に『歴史資料館　日本史のライブラリー』東京法令出版は参照していただくことが多いです。
- 配付資料をもとに板書しながら進めます。
- 受講者に考えてもらう時間を設けます。

■スクーリング　評価基準

- 教科書とノートは持込可。
- 基本史料の内容が読みとれるか。
- 基本史料の背景や歴史的意義を知り、歴史の流れの中でとらえることができるか。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：10～15 時間）

- 教科書の 1 邪馬台国、3 遣隋使の派遣、5 国分寺建立の詔、6 大仏造立、11 北条泰時書状、15 惣掟、16 山城国一揆、19 太閤検地、20 刀狩令、21 バテレン追放令、24 鎖国令、28 海国兵談、29 異国船打払令は、必ず読んできてください。
- 上記を読んでよく分からなかった点については、参考図書に挙げた『詳説日本史』（山川出版社）や『歴史資料館　日本史のライブラリー』（東京法令出版）などを活用して調べてください。
- そのほか、講義内容に関連して、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：15～20 時間）

- スクーリングで扱った史料のうち、最も興味をもったものについて、教科書に挙げられている「もっと知りたい人のための参考文献」から１冊以上を選んで読んでください。
- スクーリングで扱わなかった教科書の項目についても、全て読んでください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	大化改新の詔	大化改新の詔は出されたのか	646 年に出されたという大化改新の詔にはどんなことが書かれているのだろうか。また、その信憑性が疑われているのはなぜか。出されていなかったとすると、詔にはどんな歴史的意義があるのだろうか。

2	院政の開始	上皇（法皇）による政治はどのようなものだったのか	1086 年、白河上皇によって始まった院政であるが、その権力の源泉は何だったのか。そして、それを支えた院の近臣とはどのような人たちだったのか。また、院政から中世とされる理由は何だろうか。
3	平家物語	平氏の繁栄はどのように描かれているのか	1167 年に武士として初めて太政大臣となった平清盛。その平氏政権の経済的基盤は何だったのか。日宋貿易によって繁栄していたこと様子は「平家物語」にどう描かれているのか。そして、清盛死後の平氏はどうなったのか。
4	楽市令	織田信長の楽市令はどのような都市政策か	織田信長は 1577 年に安土に楽市令を出しているが、ここにはどんなことが書かれているのだろうか。それ以前の流通経済の仕組みを踏まえ、その歴史的な意義は何だったのか。
5	武家諸法度	幕府は大名をどのように統制したのか	1615 年、徳川秀忠は武家諸法度（元和令）を発布した。大名がこれに違反するとどうなったのか。また、武家諸法度は将軍の代替わりごとに出されたが、家光の寛永令、綱吉の天和令に特徴はあったのか。
6	鎖国令	江戸時代の海外との交易や交流はどのようなものであったか	いわゆる「鎖国令」といわれるものは、いくつかの法令をまとめて、通称でそう呼ばれているものである。れた禁中並公家諸法度は、江戸幕府が天皇や公家に統制を加えるものだった。どんなことが書かれているのだろうか。また、紫衣事件、尊号一件とはどのような事件だったのか。
7	百姓に対する生活統制	幕府が百姓統制を重視したのはなぜか	江戸幕府は百姓の生活を統制し、安定させるためにどのような方法をとったのか。1642 年の農村法令、1643 年の田畑永代売買禁止令にはどんなことが書いてあるのか。
8	身分社会への批判	安藤昌益はどのような思想家だったのか	江戸時代は身分制度の厳しい時代であったが、18 世紀後半になると民間知識人からこれを批判する意見も生まれてきた。その先駆者とも言える安藤昌益とはどんな人でその思想はどのようなものだったのか。
9	王政復古の大号令	王政復古が行われたのはなぜか	薩長両藩を中心とする討幕派は、1867 年に王政復古の大号令を発した。それが企てられたのはなぜか。また、どのように進められたのか。
10	五箇条の誓文	明治政府はどのような国づくりをしようとしたか	戊辰戦争が続いていた 1868 年に、明治政府は五箇条の誓文を発して基本方針を示した。どんなことが書かれており、どのような経緯で成立したのか。また、国民に直接示された五榜の掲示はどんなものだったのか。

11	学事奨励に関する太政官布告ー被仰出書	教育の目的は何だったか	1872 年、学制に先立って発布された学事奨励に関する太政官布告には、明治政府の教育に関する方針が示されている。どのような教育をしようとしたのだろうか。また、実際にはどのように進んでいったのだろうか。
12	民撰議院設立の建白	自由民権運動はどのように始まったか	1874 年に提出された民撰議院設立建白書は、自由民権運動の口火となった。運動はどう始まり、政府はどう対応したのであろうか。
13	大日本帝国憲法	どのような憲法が制定されたのか	1889 年に大日本帝国憲法が発布され、日本はアジア初の本格的な立憲国家となった。憲法はどのように作られ、どのような特色を持っていたのだろうか。
14	日本国憲法	憲法はどのように改正されたのか	1946 年に公布された日本国憲法は、GHQ 草案に基づいている。成立までの経緯はどのようなものだったのか。また、1 条と 9 条の関係はどのようになっているのか。
15	日米相互協力及び安全保障条約	安保条約はどのようなものになったのか	1951 年のサンフランシスコ平和条約で独立を回復した日本は、同日に日米安全保障条約を締結した。岸信介内閣は 1960 年にこれを改定して日米関係をより対等なものにすることをめざした。どこが変わったのか。そして、これに反対する安保闘争とはどんなものだったのか。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	次のA～Cから1つを選び、2,000 字程度でまとめなさい。 A　平氏政権とはどのような性格を持っていたのか。武士的性格、貴族的性格という観点を踏まえて述べよ。 B　五箇条の誓文と五榜の掲示から、明治政府の方針について述べよ。 C　日本国憲法を制定するにあたり、GHQ と日本政府の間にはどのような考え方の違いがあったのか。また、それはどのように決着したのかを述べよ。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

課題の意味をよく理解し、教科書をよく読んでまとめてください。

その際、教科書に挙げられた史料を用いた説明を心がけてください。

必要に応じて参考図書に挙げた『詳説日本史』（山川出版社）や『歴史資料館　日本史のライブラリー』（東京法令出版）などで補ってください。

■レポート　評価基準

- 課題にそった解答がなされているか（課題に正対しているか）。
- 論理的に分かりやすく書かれているか。
- 誤字脱字がないか。
- 文章の主語・述語が対応しているか。
- 専門用語の意味などを正確に使用しているか。
- 自分なりの視点や考え方を示しているか。
- 参考文献を明示しているか。

科目修了試験

■評価基準

2 大化改新、 9 院政の開始、10 平家物語、18 楽市令、22 武家諸法度、24 鎖国令、25 百姓に対する生活統制、27 身分社会への批判、33 王政復古の大号令、34 五箇条の誓文、36 学事奨励に関する太政官布告、37 民撰議院設立の建白、38 大日本帝国憲法、44 日本国憲法、46 日米相互協力及び安全保障条約の範囲から、論述式の問題を出します。